

平成 28 年度事業報告

花水木会は、基本理念・運営方針を基に事業を計画的に推進し、地域社会における福祉サービスの拠点として地域福祉に応えるべく民間施設の特性を生かした公共性・自主性・信頼性を大切にし、地域に根ざした施設づくりに邁進した。

施設運営においては無理無駄を無くする為の努力は最善を尽くしたが、利用者減に歯止めがきかず経営面は厳しい結果となった。

以下、平成 28 年度は、次のとおりの事業を実施した。

1、理事会及び評議員会の開催（理事会年 3 回・評議員会年 3 回）

【理 事 会】

第 1 回理事会（平成 28 年 5 月 26 日）

- ・平成 27 年度花水木会事業実績報告について
- ・平成 27 年度花水木会決算報告について

報告事項

- ・マッサージ器の入れ替えについて

第 2 回理事会（平成 29 年 1 月 12 日）

- ・社会福祉法人花水木会定款の変更について
- ・評議員選任・解任委員会の細則について
- ・評議員選任・解任委員会の設置及び委員の選任について
- ・評議員選任・解任委員会に提案する次期評議員候補者の提案について
- ・経理規程の改正について

報告事項

- ・利用状況と上半期財務状況について
- ・ホームページのリニューアルについて

第 3 回理事会（平成 29 年 3 月 27 日）

- ・平成 28 年度花水木会資金収支補正予算（案）について
- ・平成 29 年度花水木会事業計画（案）について
- ・平成 29 年度花水木会予算（案）について
- ・花水木会定款細則の変更について
- ・花水木会経理規程の変更について

報告事項

- ・新評議員の選任について

【評議員会】

第 1 回評議員会（平成 28 年 5 月 26 日）

- ・平成 27 年度花水木会事業実績報告について
- ・平成 27 年度花水木会決算報告について

報告事項

- ・マッサージ器の入れ替えについて

第2回評議員会（平成29年1月12日）

- ・社会福祉法人花水木会定款の変更について
- ・経理規程の改正について

報告事項

- ・利用状況と上半期財務状況について
- ・ホームページのリニューアルについて

第3回評議員会（平成29年3月27日）

- ・平成28年度花水木会資金収支補正予算（案）について
- ・平成29年度花水木会事業計画（案）について
- ・平成29年度花水木会資金収支予算（案）について

報告事項

- ・定款細則の変更について
- ・経理規程の変更について
- ・新評議員の選任について

【評議員選任解任委員会】

第1回評議員選任解任委員会の開催(平成29年2月9日)

社会福祉法人花水木会評議員の選任について

- ・委員（監事） 山本喜三雄 委員（外部委員） 乾 俊春
- 委員（事務局） 辻井 敬

2、通所介護 あかつきの郷の経営

民間企業としての経営を基盤にサービスを必要とする人が安心して利用できる介護を実施してきたが。近江八幡市に多数のデイサービス事業所が増え利用者も従業員も分散し利用者の確保並びに従業員の確保も厳しい状態のなか、平成28年4月から9月までの前期は利用者延べ3,396名1カ月平均566名と順調に推移したが後期は新規利用者が少なく又、85歳から105歳と高齢であり長期入院者や老衰死亡或いは特老入所で下半期1月までは厳しい状態であったが12月から各居宅支援事業所への相談員等による広報活動により2月3月に新規利用者が4名増利用となった。また、施設経営については、日常の無理無駄を再考し固定経費の削減に努力した。

さらに、仕事の効率化を図るとともに職員に対する福利厚生にも傾注し、職員も安心して働きがいのある施設経営に努めた。

3、居宅介護ケアーマネジメントあかつきの郷の経営

居宅支援事業所は、介護支援専門員1名を配置し利用者の意向に基づき、公正・公平・平等を基本理念にケアプランを作成し、利用者・家

族が安心して介護サービスを利用できるよう支援した。定員定数の35名を達成できた。

あかつきの郷は、基本理念・運営方針を基に民間施設の活力を生かした事業を計画的に以下のとおり鋭意努力し遂行した。

1、基本理念

あかつきの郷は、『安心ある楽しい暮らしを支援する』ことを基本理念に利用者の立場に立ち、サービスの質の向上に努めることを基本に事業を計画的に推進した。

2、運営指針

〈施設の使命〉

あかつきの郷は、地域社会の支持を受けて、高齢者が安心して地域で生活できる拠点となることを施設の使命として努力した。

〈地域福祉の向上〉

あかつきの郷の職員は、地域社会の一員としての自覚と誇りを持ち、医療・行政との連携を持ち、地域福祉の向上に寄与した。

〈公平・公正・平等な施設経営の遵守〉

あかつきの郷の職員は、高齢者の人権と生活を擁護するため、自己研鑽と意識向上を強化し、公平・公正・平等な開かれた施設経営に努めた。

〈利用者個別対応の向上〉

あかつきの郷の職員は、常に誠意をもって質の高いサービスが提供できるように、実技研修・介護勉強会など職員個々が努力し、職員の資質と専門知識の向上に努力した。

〈職員の資質・専門性の向上〉

あかつきの郷の職員は、常に誠意をもって質の高いサービスを提供できるよう日頃よりケアカンファレンスを重要視し、また、実技研修に励み資質向上と専門知識を取得するため努力した。

3、施設及び生活環境の整備

施設内外の環境整備は、施設内ホールをはじめとする利用者を顧客として迎えるにふさわしい快適な環境の整備に努力した。

- ① 施設整備の保全並びに環境美化
- ② トイレ、入浴室、厨房の清潔及び整理整頓の実施
- ③ 利用者の身の周りの清潔保持（ベッド周りの整理整頓・寝具など日光消毒等
- ④ 食中毒防止策として熱処理を徹底するとともに厨房内の衛生管理の徹底と厨房職員の月1回の検便実施。
- ⑤ 嘱託医の指導のもと、利用者の感染症対策（インフルエンザ）及び利用者の健康状態を滋賀県、近江八幡市、医療機関、居宅支援事業所と連絡調整し敏速に対応した。

4、消防計画

消防設備、防災用機器の定期点検及び整備を実施し、火災発生時及び天災地変に備えての避難誘導訓練等を実施した。

年1回 消防法による消防設備、防災機器の定期点検の実施

年2回 消火訓練・避難誘導訓練

夏季 平成28年6月24日 消火訓練(施設内厨房)
職員による訓練

冬季 平成29年2月6日 避難誘導訓練(ホール)
職員と利用者による訓練

5、職員の役割

職員の資質向上を図り、利用者の安全と個別処遇の充実を第一に、職員の役割分担を定め職員研修の充実と実技研修に努めた。

ケースカンファレンス	毎日
介護職員会議	随時
行事・レク会議の実施	毎月1回
実技研修の実施	随時

職種別による施設外研修の参加

職種別に県社協、県等の研修案内により職員に周知し順次参加の実施。

6、広報活動

- ・ 広報「あかつきの郷」を毎月発行し、家族、地域等に広く広報
- ・ ホームページの活用 (事業計画・事業報告・財務諸表の掲載)
- ・ 地域老人会との交流の推進

7、予算及び資金計画

施設経営の裏付けとなる収支予算の編成及び無理・無駄のない予算執行に努め、資金計画にあたっては、計画性並びに健全性に留意し、適正かつ効率的な処理に鋭意努力した。

8、事業計画・重点事項

- (1) 季節感のある行事と施設内レクリエーション・また、ボランティアの演奏会などの受入に努めた。(別紙2)
- (2) 通所介護計画並びにケース検討の見直し等の徹底を図り、個別対応に努めた。
- (3) 安全対策の為の介護実習の強化を継続し、結果、転倒等の介護事故は施設開設以来皆無。特にトイレ誘導及び入浴利用時は、マンツーマン体制の実施を行っている。
- (4) 職員の福利厚生の実施と資質向上のための各種研修の参加
- (5) 企業内同和問題窓口担当者の設置と研修参加及び施設内研修の実施

付属明細書

9. 職種別職員数・年間利用者実績
別紙 1

10. ボランティア・施設内行事
別紙 2